

常盤塾

日時：2015年9月12日（土）10：00～13：00

場所：新国際ビル MBFハウス

文責：常盤塾ライター 東野祐香里（前半）、三藤剛照（後半）

メンバー：常磐さん 安梅さん 丸山さん 昌子さん 白井さん 松永さん
井出さん 大下さん、古川さん

次回に向けての連絡

特に無し

(1) 常磐さんのお話

● 戦後70周年にあたって

節目の折に製造業の姿を振り返る

1945年敗戦、連合軍司令官…民主政策：新憲法、労働組合、農地解放、財閥解体

● 岩井さん「人を活かす経営を築けるのか」

日本型の経営を生み出せるかどうかは日本の未来につながる

アメリカ流でもかつての日本流でもない仕組み

それを通して世界に貢献することが日本の使命

三菱、住友、安田が当時3大財閥

一部の人が金を保持し社会を支配する仕組みを解体→従業員を大切に作る仕組み

バブル崩壊まで日本は成長、社員主体で経済を伸ばすスタイル

日本が延びた一方でアメリカが沈んだ1980年代

自由奔放な経済、市場は自由にさせておく

人間を離れて金が1人歩き

日本が沈んだ一方でアメリカが伸びた1990年代

“産業資本主義”…通奏低音のように流れている思想

大量生産を可能にする仕組みを確立し、金を集めて製品を作ることで金を稼ぐ

金をどのように集めてものを作るか

新しい転換の中では効率、新たなマーケットの創出などの差異が金を稼ぐ源泉になる

ものから人の時代へ…産業資本主義→ポスト産業資本主義

株主（人ではなく金を持つ）の支配力は低下、ポスト産業資本主義では必要度が薄れる

（人ではなく金を持つ）

金ベースの考え方が最大の問題

会社の資源は人、もの、金

しかし今の日本の企業では金、もの、人という考え方

過去からの遺産を考える節目

どのように人を大切に作る仕組みを作るか

この仕組みを通して世界に貢献することが最大の貢献

● 猪木先生「国力を築けるのは人である」

株主が企業の資源を支えている現状はよろしくない

長期的視点の欠落があるのではないか

短期成果主義が日本の主流…問題

本来人は時間をかけてじっくり育て、その人固有の価値を創り出していくもの

仕事を通して人を育てる長期的視点が欠落

視野の短期化によって日本企業の長期的な成長が阻害される

幸せとは何か…現状を保持し安定を求めていくこと

希望とは何か…現状には満足していないが変化を求めていくこと

企業文化の風土の中で人が育ち、その育った人がよい仕事をしていく

よい仕事があるところにより人が集まり、よい人が集まるところにより仕事が集まる

魅力有る製品、買いたくなる製品

社長は隠し味、少し良い味をつけるのが社長の仕事

● 片平さん

金、もの、人の純で考えている人が多い

● 常磐さん

どのように金儲けをするかだけを考えている人はだめ

● 安梅さん

人を大切にしない状況で働いている親が子を大切にしないという負のスパイラル

● 常磐さん

ワークライフバランスというのが流行で、これはまったくのいみのない空論。仕事と家庭は二分できない。会社での生活と家庭の生活を分離してはいない

● 古川さん

古き良き日本の良さを残せるのかどうか

● 常磐さん

文化が悪いと淋しい結果を招く (ex)東芝

上の人たちの見えない圧力が間違った文化を作る

● 古川さん

残っている会社は人がよい

● 片平さん

人は幼児期が大切 (Giving kids a fair chance より)

荒んだ親が子を産むとどうなるか、子の最初のところの視点

本質をわかった親が世の中に溢れる必要性

● 常磐さん

フェアとは何か、アンフェアとは何かをわかることの大切さ

● 片平さん

やってみるとわかる (お礼メール、あいさつなど)

● 常磐さん

理屈で解析するからわからなくなる、「好き」は「好き」でよい

● 片平さん

岩井さん、猪木さんの品位はダントツ

持っているものが違う…読んでいる量? 視野が広く深い

● 常磐さん

会社が忙しいというのは言い訳

● 片平さん

もう1世代上には何人かいる

● 古川さん

資本主義の仕組み自体はルール、仕組みだけ見てもだめ

● 常磐さん

現実を支えているものを見ているか見ていないかの違い

会社は見るレベルが高い

数値などの現実の周りに何があるか

● 古川さん

文化の中から製品が生まれる

● 常磐さん

文明 (白身) と文化 (黄身)

文明は民族の歴史の中から出来てきたもの

● 片平さん

JASEAN 文明

- 常磐さん
文化は目に見え感じられるが、文明は感じられない
文化は断片で捉えられるが文明はかたまり
- 松永さん
多世代近居に戻すべき
都市の機能と田舎の機能を両方ともちゃんとする（両方に天才が必要）
平和には気付かない
温かく暮らせるような仕組み ex)ストックホルム
本当に幸せかどうかは、近居をしていると気にしない
プラトンもアリストテレスも必要
- 丸山さん
田舎の方が知恵で生きている、都会は地域で生きている
- 常磐さん
日経新聞の記事（コピーをとって pdf 化）
主流 ↔ 移流
- 片平さん
主流にだけはなるな

(2) 植物はすごい

資料参照

- 常磐さん
この本がいいと持ったのは。「ものづくり原論」にもおなじようなものがあって、植物の種類を知って、それを会社の仕事にどのように活かすかといった翻訳をしなくてはならないというのがテーマです。企業もそういうところを積極的に取り入れていかなくてはならないのではないかな。
- 松永さん
次世代でコンピューターをやるひとは生物学が必要ですよね。

- 常磐さん
植物は水と炭酸ガスでエネルギーを作ってるので、これをひたすら研究したら、非常に有意義。
- 井出さん
人工光合成みたいな取り組みもあるみたいなんだけど、まだできていない。
- 常磐さん
これができない手はないと思うんだけど。
- 今田さん
実際に負荷はかかっている。実際に生産者は植物以外なくて、或る程度はユーグレナが頑張っているけど、人工植物ってできないのかな？

- 大下さん
牛のゲップが非常に問題
- 今田さん
南極の温暖化は牛のゲップのせいといわれています。

- 臼井さん
植物には自分だけ生きるような発想はないのかなと思う。自分だけ繁栄したら滅びてしまうっていうのはあり得て。もう一回基本に変える必要がある
- 常磐さん
海で牡蠣養殖しているけど、結局これは山からの養分でできている。結果として相手の能力を使う能力があれば、バランスのとれたところに行く、という発想も大切かなと思う。共存共栄の対局にはなにがあるのか。自立自存ということもあるのではないかな？たぶん植物がそんな考えではないか。一つの言葉の裏にはそれに対局する言葉がある。
- 古川さん
最近シェアすることが流行っているけど、もともとは大きいものをシェアする感じだったけど、Uberとかでてくるとそれもかわっている。
- 片平さん
木というものに対する愛情。どんなものも無駄にしない、そしてそれを利用して最後はバイオマスなどを利用するといった小さな撒きストーブで一軒のいえがあったかくなる仕組み。それをほかの村にもって行って使ってもらおう。都市ではありえないはなしだけど、向こうのひとは木と生きているなあ。

● 今田さん

エチオピアの話し

すごい都会です。いやらしくなく、素直です。逆に南アフリカは西洋があれこれして治安が最悪です。現在の首相がエチオピアは下手な開発をせずに理想郷みたいなものを作りましょうという話しをしている。トランスフォーメーションという言葉で、農業は活かしながら何かをするって話しです。数字の上では最貧国なんだけど、今までで一回も植民地されたことのない国である意味穏やか、ある意味あきらめていて非常にのどか。

● 常磐さん

アフリカの人口は

● 今田さん

10 億人です。右上がりしかないならそこしかない。そこをフロンティア的に乱開発したら終わってしまいます。ほとんどが農業、年間 20 度ちょっとで非常に気候が良い。